

千代田区長選

子育て政策聞いてみた

候補者政策アンケート

この度はみらい子育て全国ネットワーク(miraco)のアンケートへのご回答を検討いただきありがとうございます。

私たちは子育て中の親が中心となって作る市民団体で、子育て世代や若者が政治に興味を持ち投票へつなげる事をめざしています。これまで、身近な「子育て」に関する政策アンケートを2017年の衆議院選挙より開始し、各首長選挙や、統一地方選挙、参議員選挙などの立候補者に対して実施し、それをTwitterやfacebookなどのSNS等で拡散してきました。(詳しくはWebサイトをご覧ください <https://miraco-net.com/seijisanka/>)

今回のアンケート作成にあたっては、これまで私たちに取り組んできた子育てに関する課題を中心に、子育て中の千代田区民の方へのヒアリング、および「千代田区次世代育成支援計画策定のためのニーズ調査報告書(平成31年3月)」を元に設問を用意させていただきました。

頂戴した回答は、公示日後にSNS等で広く周知させていただき、またWebサイト上で候補者同士の比較がしやすい形で公開させていただく予定です。

多くの有権者に皆さまの「子育て政策」への想いを届けるお手伝いできればと思っております。ご多忙の折恐縮ですが、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年1月19日
みらい子育て全国ネットワーク

返信先 E-mail: hoikuenhairitai@gmail.com

回答締め切り 1月25日(月)

候補者のお名前: ひぐちたかあき

ご本人様のご署名をいただけますと幸いです。

1. 保育園について

①待機児童について

千代田区内の2020年4月時点での保育園待機児童は0人となっていますが、千代田区の待機児童の定義では、認可保育園の申込時に区内全園を希望しなければ待機児童としてカウントせず*1、待機児童から除外しています。こうした、現実的に通える範囲の園に空きがないなどの、隠れ待機児童を含む待機児童数は77名（地方単独事業を利用+特定の保育園等のみ希望）となっています。

*1:「特定の保育園等のみ希望」に集計

1-1. 当区の待機児童のカウント方法および待機児童対策全般について、現在の対応で十分とお考えですか。

はい。現在の方針を継続することで良い。

いいえ。不十分であり、現在の方針を見直す必要がある。

1-2. 1-1の回答を選んだ理由を教えてください。（「いいえ。不十分である」を選んだ方は、**どのような施策を行っていきたいか具体的な提案**をお聞かせください。）（上限：200文字）

私自身も区内で子育て中の当事者で、待機児童など子育て支援は都議時代から注力してきた分野として多くの新たな取組を実現してきました。エリア毎のニーズに即した「数」の面に加え、安心して預けられる環境整備、保育料負担の軽減、柔軟な入園時期の選択、ベビーシッターの活用、デジタルを活用した各種手続の簡略化など、都の施策も効果的に活用しながら、各家庭のニーズに即した「質」の面での向上への取組を進めて参ります。（199文字）

②保育者の確保・定着について

1-3. 保育はその業務負担や責任の重さに対して、他業種に比べ給与水準が低く（都内全産業平均と保育士の年収格差は約210万円(R1年))、保育の現場では長年、人材の枯渇・現場のひっ迫が叫ばれています。

保育者の確保・定着のために千代田区が行っている施策について、**現在の評価**をお聞かせください。もし**保育者の処遇改善が必要**だとお考えの場合は、「何を」「どのように」改善するのが適切だとお考えか、**財源とともに**お聞かせください。（上限：200文字）

都議時代から都の保育士等キャリアアップ補助の強化などにより保育士の待遇の向上に向けた取組に注力しており、都の調査では保育従事者の賃金の改善傾向も報告されています。引き続き家賃支援含め待遇改善の取組を進めるとともに、ICTを活用した園の業務の効率化支援などもあわせ、保育従事者の方々の業務負担の改善を進めて参ります。（157文字）

③保育の質について

1-4. 千代田区においては認可保育所だけでなく、認証保育所や企業主導型等、認可外保育施設も多く存在しています。全国的には、認可保育所でも不適切保育や、ベビーシッターにおける小児わいせつ事件なども発生しています。

保育の質確保・向上に対し、**千代田区で今後拡充したい施策**があればお聞かせください。

(上限：200文字)

私自身も区内で子育て中であり、わいせつ事件を決して許すことはできません。職業選択の自由に配慮しながらも、事業者による保育従事者・教員の適格性のチェックに資する情報共有体制のあり方や、事業者による適切な監視・予防体制の整備を後押しする取組を進めて参ります。(127文字)

2. 放課後の子どもの居場所について

千代田区の学童保育の待機児童はゼロと言われているものの、フルタイムの仕事でないと枠に入れない、高学年になると入れない、など潜在待機児童が存在すると考えられます。また、放課後子ども教室は夕方の預かり時間が短く、長期休暇中には行われていないなど、働く保護者が多い中、仕事を続けることが難しいという声があります。

2-1. 小学校以降の放課後の子どもの居場所について、現状の施策で十分ですか。

はい。十分である。

いいえ。不十分である。

2-2. 2-1の回答を選んだ理由を教えてください。（「いいえ。不十分である」を選んだ方は、**どのような施策を行っていきたいか**も教えてください）（上限：200文字）

共働きのご家庭が増えており、放課後や長期休暇等における子どもの安全安心な居場所の確保の必要性はこれまで以上に高まっています。インフルエンザ等で学級閉鎖になった時の子どもの預かり等、状況に応じたニーズや、エリア毎のニーズに即した学童保育の「数」の充実に加え、民間と連携しながら様々な分野の学び、創造性・自主性・社会性を育む遊び、体験や交流の場など、「質」の面からも子どもの居場所の強化を進めて参ります。(200文字)

3. 公園・遊び場について

3-1. 千代田区は、公園と名の付くスペースがあっても遊具が少ない、狭い、ボール遊びが禁止されている、時間制限が厳しい、雨の日に身体を動かせる場所がないなど、小学生や幼児がともに安全に楽しめる公園や遊び場を充実させてほしいという声が多く寄せられています。この課題について、あなたの考えを**具体的な施策**とともに教えてください。（上限：200文字）

子どもの健康・健全な育成を支えるために、公園等の地域の遊び場の確保は重要な課題です。私が都議時代に成立させた「東京都子どもを受動喫煙から守る条例」による公園の禁煙の徹底、防球ネットの整備等でボール遊びができる環境の整備、障がいのある子どもと一緒に遊べる遊具を設置したインクルーシブ公園の整備を進め、区道「みち空間」や公開空地の活用、屋内施設も含めて様々な視点で子どもの安全な地域の遊び場の整備を進めます。(200文字)

4. 多胎児支援について

4-1. 双子や三つ子といった多胎児を持つ親の多くが家事や育児の手が足りず支援が必要と感じていること明らかになったことから、国や東京都で多胎児支援制度を拡充させています。文京区・台東区などの近隣の区がこれらの制度を利用して移動経費補助やヘルパー事業拡大をする中、千代田区では現状、多胎児家庭に特化した支援はなにも行っていません。千代田区での今後の対応について、あなたの考えを**具体的な施策とともに**教えてください。(上限:200文字)

多胎児支援について区はあまり進んでいませんが、都の多胎児支援は私が都議時代に注力して実現に至りました。「ママパパ応援事業」(旧ゆりかご事業)で拡充された多胎児がいる家庭の移動経費補助・家事育児サポーターの派遣による産後の家事育児支援・相談支援・多胎児の場合のベビーシッター利用支援の拡大などを活用するとともに、手続きの簡略化等、使い勝手が良くなるよう区民の皆様のニーズに即して様々な取組みを致します。(200文字)

5. 学校教育について

①学級崩壊対策について

5-1. 小学校での学級崩壊の話が毎年のように聞かれますが、担任の力量のみに頼ることのリスクも鑑み、専門知識を持つ支援員を常時関与させるなどの対応が必要ではという意見もあります。教育現場への支援について、あなたのお考えを教えてください。(上限:200文字)

教員が児童生徒一人ひとりと向き合うことができる環境の整備は、教育の質の向上につながります。私が都議時代に注力して成立に至った、東京学校支援機構(TEPRO(ティープロ))の人材バンク機能を活用した学校を支援する人材の確保、ICTを活用した校務の効率化、教科担任制、国の動向も見据えながらの少人数学級への対応など、教育現場への支援に全力で取り組んで参ります。(178文字)

②ICT/オンライン教育について

5-2. 千代田区の公立小では、昨年2月末の一斉休校から2か月半後の5月中旬に、ホームルームや一部授業のオンライン化を開始しましたが、私立学校と比べて対応が遅く、教育格差への懸念が生まれました。

また、昨年12月に一人一台のタブレット配布を実現させたものの、「何を学ばせるか」が不足しているのか、タブレットでの学習について、子どもたちから「つまらない」という反応も

聞こえてきています。この現状について、千代田区はどう取り組むべきかあなたの考えをお聞かせください。（上限：200文字）

一人一台端末環境を活かした教育内容の充実は、激動の時代を生き抜いていかなければならない子ども達に対する、大人の極めて重要な責務と考えます。開始直後で様々な課題が生じているのは認識していますが、予習・復習での活用、論理力を鍛えるプログラミング教育、英語の「聞く・話す」力の強化など、学びの個別最適化や価値創造・課題解決型の学びへつながる新たな「ちよだスマートスクール」プログラムを推進して参ります。（198文字）

6. 子育て世代の声を反映した街づくり

6-1. 現在の千代田区の子ども子育て会議は、区民の声を施策に反映させるような運営になっていません。もっと子育て世代のリアルな声を集め、実際に街づくりに活かされるような場を作ってほしいという声もあります。これについて、あなたの考えを**具体的な施策とともに**教えて下さい。（上限：200文字）

私自身も区内で妻と支え合いながら子育てをしている一人の親です。その経験から、子どもが輝くまちは、親も楽しく、地域に活気があるまちです。子育ては女性だけではなく、男性も、そしてまち全体で取り組んでいくものであり、私自身の経験もふまえ新たに「イクメン(育児に関わるメンバー)会議」を創設し、子育てに関する区民の皆様のご意見を伺い、まちづくりに活かします。また孤食対策として子ども食堂は検討を進めます。（199文字）

7. その他子育て政策について

7-1. 1~6の質問以外で、推進されている（されようとしている）子育てに関する政策がありましたらお聞かせください。（上限：200文字）

保育・教育に関する各種手続のオンライン化による保護者負担の軽減、世界で活躍する子どもを育成する英語教育の充実・強化、保育・教育の経済的負担の軽減、子ども宅食・配食支援、児童虐待対策、インクルーシブな教育環境の整備など、区内で妻と支え合いながら子育てをしている一人の親・当事者目線で全力で取り組んで参ります。（153文字）

ご回答ありがとうございました。